

梅花霜雪

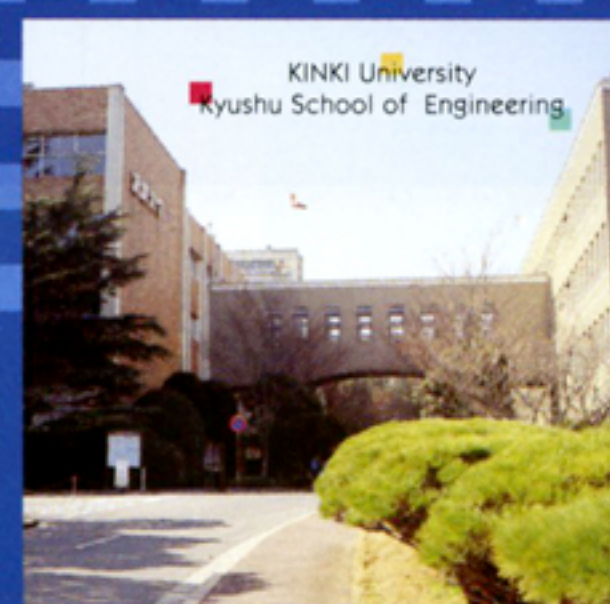
2003/5/1 Vol.6

Kinki
Kyushu School of Engineering
Dousoukai
NEWS

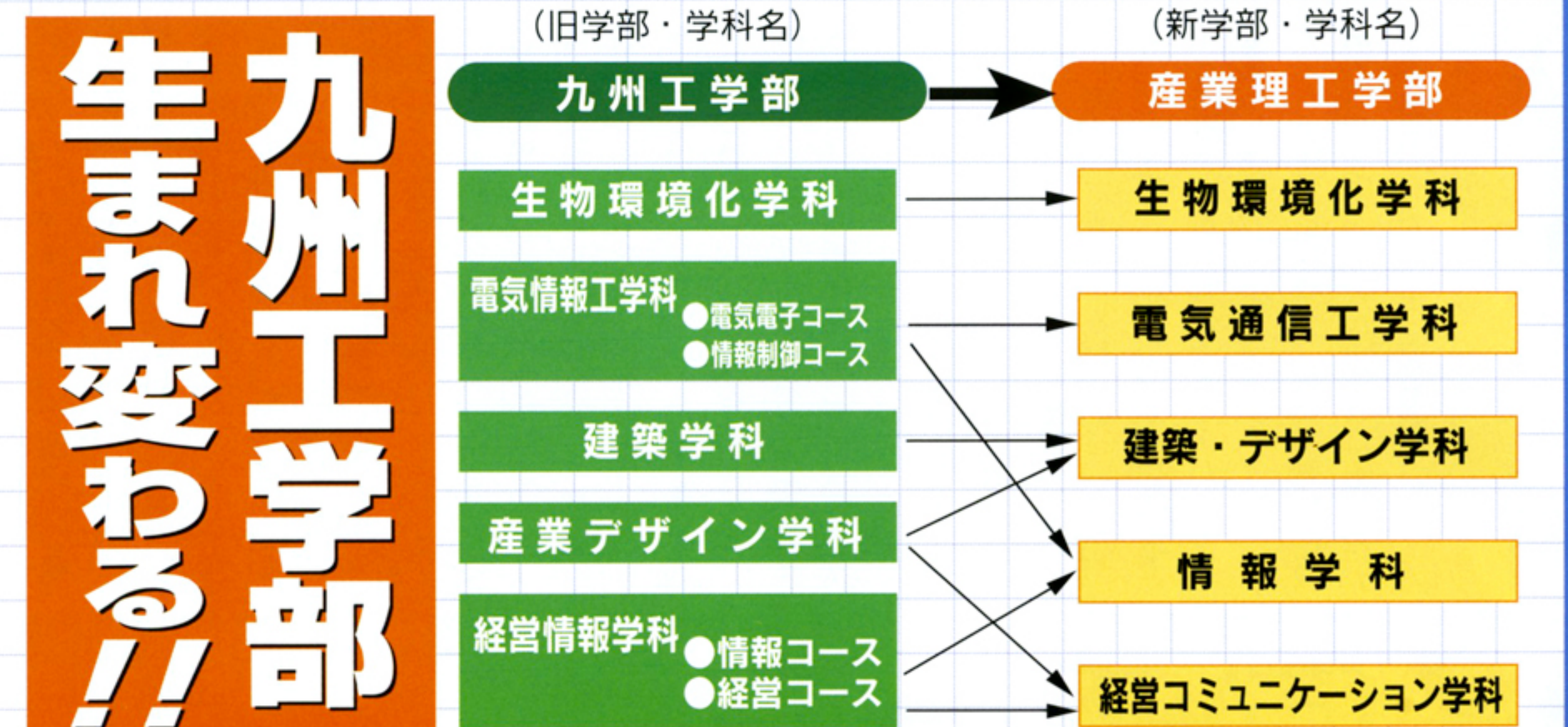
近畿大学九州工学部同窓会ニュース

http://www.fuk.kindai.ac.jp
E-mail:dousou@fuk.kindai.ac.jp

近畿大学九州工学部同窓会発行
〒820-8555 近畿大学九州工学部内
TEL 0948-22-5655 FAX 0948-23-0536



九州工学部 産業理工学部



「九州工学部は今、
大きく生まれ変わります」

近畿大学九州工学部

学部長 菊川 清

同窓会の皆さん!!お元気に活躍のことと存じます。

大量消費社会から循環型社会へ、そして効率最優先の競争社会から、ユニバーサルな共生をめざす優しさと感性の社会へ。時代の価値観が大きく転換する中、九州工学部は平成16年4月、20世紀の技術至上主義に別れを告げ、21世紀社会の求める、人間主義の工学教育をめざす「産業理工学部」へと大きく生まれ変わります。

現在の5学科も「生物環境化学科」、「電気通信工学科」、「建築・デザイン学科」、「情報学科」、「経営コミュニケーション学科」に再編されます。特に経営コミュニケーション学科は、文系の特徴を持つ学科として、学費も近隣の文系学部の学費と同等程度とすることで通学圏内に文系学部が少ない筑豊地区の受験生への期待に応えます。

同窓生の皆様には、益々母校のため、ご支援賜りますようお願い致します。

「14年度チャリティー ゴルフに参加して」

昭和41年に開学して今年で38年目を迎え、1万人を超える方々が社会に巣立られたと聞いております。卒業生の皆様方にはそれぞれ一所懸命努力され、功なり名を遂げられている方も多数おられると聞き及んでいます。同窓会行事の一環として九州工学部(旧第二工学部)同窓生の親交を深め互いに研鑽しあう集いが、同窓会組織のご尽力により毎年開催され参加させて頂いています。

その内の一つ、チャリティーゴルフコンペには十年来、参加し皆さんの元気な顔を見るのを楽しみにしています。このコンペには数年前までは相当数の卒業生の方々の参加がありましたが、近年漸次減少傾向にあります。今年は多くの卒業生の皆さんが参加され、日頃のストレス解消と共に同窓会の結束がより一層深まることを期待します。因みに、晩前の方は下手の横好きで煩惱はクリアしましたが苦勞、九六に悪戦苦闘しています。(敬称略)

(生物環境化学科助教 西山丈夫)

「FAMINIA」に参加して

福田 茂幸 (S48年電気卒)

(有)福田電気商会勤務

平成14年11月17日に福岡市内の竹下にあるアサヒビル園見学と、桤木で柿狩りといった内容で大型バス、台で出かけるといった近場のコースでした。アサヒビル園は、工場内見学の時間が長く、とてものがれいしてうながったのですが、丁度うまい具合に最後に試飲コーナーが設けられて、とても楽しい一時となりました。絶対に沈む心配がないというのが、良いですね!

帰路の途中で山に登って柿狩りをしたのですが、思わずさきり過ぎてしまい、持つて帰るのに苦労した参加者が多かったようです。

平成14年度同窓会懇親会の報告

「友遠方より来る、また楽しからずや」

平成14年度近畿大学九州工学部同窓会
同窓会実行委員長 井手 克行 (S49年建築卒)
I・DE 勤務

平成14年度の同窓会も関係各位の大変なご協力を得まして、盛大にできましたことを心より厚くお礼申し上げます。また準備期間中は、大学側はもちろん、役員及び幹事の方々にさらにO・Bの方々の温かいはげましのご支援を受けたことは本当に感謝にたえません。

今回は今までとちがいが、短大との合同同窓会となりやめ工学部のみでありましたが、前回以上にO・Bの参加がありほっとしたところでありました。

その中で何十年ぶりに会ったもの同士、我をわすれて歓声を上げ熱く語り合い、その絆を強くし次の再会を約束しあったものです。

さて我々を取り巻く社会状況は厳しいものがありますが、それに負けず後につく後輩の為に、元気のいい近畿大学同窓会の輪を広げていきたいものです。



●平成14年度近畿大学九州工学部同窓会総会● 議事録

江藤 公司 (S49年建築卒) 江藤組(株) 勤務

藤本 (59年卒) の司会による、坂口会長 (48年卒) の挨拶で開催され、同窓会の発展を誓う言葉から始まり、遠来の会員の労をねぎらう言葉でしめられた。議事が進むなか総会の議長選出の前に、会長からの報告として同窓会関東支部が5月に発足し、安藤氏を中心として今後会の活動の根を広げたいとの報告があった。

総会の議長として、瀬下 (48年卒)、書記として江藤 (49年卒) がそれぞれ推薦及び指名され議事の進行が行われた。

- 総会次第により
- 1) 事業報告
 - 2) 会計決算報告
 - 3) 監査報告
 - 4) 事業計画案
 - 5) 予算案
 - 6) 規約改定
 - 7) 新役員選出

議事進行のうち、事業報告及び事業報告案については、大島 (48年卒) が答弁された。配布された資料により報告が行われ経過については目を通すにとどまる。監査報告は田嶋 (55年卒) が報告されたなか、通年より利息収入が多いとの意見があり、答弁として津野 (55年卒) がたれ、定期貯金の満期による金額を収入に加算した結果と報告された。続き予算案の報告も津野がされた。新役員として一尾氏と樋口が選出され、役員全員が壇上にて挨拶をされた。閉会の言葉を二田水がされ14年度総会が終了した。(敬称略)



近畿大学九州工学部同窓会 関東支部活動内容



平成14年近畿大学九州工学部同窓会関東支部設立総会、及び第1回同窓会を開催しました。関東支部設立及び同窓会開催にあたり九州工学部同窓会各位様のご協力を頂き開催された事を改めて感謝致します。

また、当日、九州工学部同窓会会長の坂口高昭さん、副会長の福田茂幸さん、及び九州短大卒業生の参加も頂きました。近畿大学校友会東京支部、支部長の前進さんのご好意により近畿大学校友会東京支部の新年会に参加させて頂き交流を図らせていただきました。未だ少人数による組織ですが今後、ビジネス、大学との交流、また情報交換の場として発展させて行かなければと考えております。

なお、今年度の関東支部同窓会を5月24日に開催致しますので、ご参加できる方が居られましたら関東支部の方へメールなどでご連絡をお願い致します。またその他ご意見や情報がございますでしたら宜しくお願い致します。

近畿大学九州工学部関東支部 支部長 安藤秀徳 (S51年電気卒)
東京美装興業(株) 技術開発センター 勤務
メール kantou@fuk.kindai.ac.jp

平成15年度近畿大学九州工学部同窓会 福岡で開催!!

平成15年度同窓会実行委員長 柳田 二郎 (S47年化工卒)
福岡水産物取引精算(株) 勤務

卒業してはや三十余年が経ちました。我が「九州工学部」も時代の流れと共に変化しつつ、少子化時代を見据え厳しく成る現況を乗り越えなければなりません。大学では学部名の変更や専門分野の充実が図られ、今まさに勝負の時代です。

私たち卒業生にとっては、寂しい事です。が九州工学部としての卒業は平成15年度で終わります。しかし、我ら卒業生は新しい学部名の「産業理工学部」の一步を歓迎し、精一杯の協力・支援を行ってまいりたいと思ひます。

私は五十五才を迎えようとしています。卒業してから三十余年、福岡市で同窓会九話会を年二回毎年欠かさず行っており。この会では自己紹介・近況報告・仕事の事・子供の事など色々な話題を語り合い、また色々な情報交換の場でもあります。自分自身まあ良く続くかな」と感じています。が、今後も続けて行きたいと願っております。

さて、近畿大学九州工学部同窓会総会も毎年、飯塚市で実施してまいりましたが、今年度は、より多くの同窓生が集まりやすい利便性を考慮し福岡で同窓会総会を開催する運びとなりました。

懐かしい思い出話に花を咲かせ、また互いの近況を話し、大いに楽しんでもらえるよう、当番生一同、心よりお待ちしております。

最後に、私たち卒業生皆で力をあわせ、「近畿大学産業理工学部」を支えて行きますように。

近畿大学附属福岡高校が近大敷地内に移動



学生就職支援団体「JOBoo!!」発足！！

代表 生物環境化学科（旧工業化学）四年 上野 輝樹
「Future design」という言葉をご存知でしょうか？将来設計という意味です。私たち学生は生活の中で両親や先生方、先輩方、学校、社会といういろいろな方たちや組織に依存しているのが事実です。そこで私たち学生就職支援団体では、学生自身による学生のための学生生活設計または、将来設計を考えていくことで就職やこれからのキャリアやスキルアップを考えていこうという支援団体です。わが九州工学部を卒業された先輩方とともにこれからの長い人生の将来設計をしていきたいと考えています。

学生就職支援団体の活動例として平成15年2月5日の学内就職セミナーがありました。このセミナーでは、部を先輩講座として第一部では企業人事部を招きブースによる説明会をいたしました。このセミナーでは学生約250〜300人が訪れ、人事部の説明を聞き、多数の質問が出ました。この活動は全国で3番目の活動であると聞きつけ、地元新聞社が取材に来るなど九州地域で注目を集めております。今後は九州工業大学情報工学部や福岡県立大学との連携を取りまして筑豊地域の活性化にも取り組んでいきたいと考えております。在学生だけでなく先輩方、また企業の方とともに活動していきたいと考えておりますので先輩方のご協力、お力添えをお願い申し上げます。ご連絡は九州工学部の就職課までお願いいたします。

卒業式にて同窓会長賞

平成14年度 同窓会長賞受賞者		
学科名	氏名	氏名
生物環境化学科	菊 地 玲 奈	鬼 崎 智 子
	小 林 大 誠	厚 井 文
	白 石 哲 也	長 原 七 恵
	堀 内 幸 造	牛 原 美 幸
電気工学科	満 口 雅 文	西 村 哲 平
	横 山 敦 之	吉 村 喜 芳
	扇 谷 幸 代	
建築学科	時 井 絵 美 子	
	藤 崎 梨 奈	

■平成14年度卒業成績優秀者15名に同窓会長賞を贈りました。

平成13年度近畿大学九州工学部同窓会決算書

支出の部			収入の部		
摘要	予算	決算	摘要	予算	決算
会議費	200,000	134,553	会費収入（過年度分）	0	140,000
交通費	250,000	152,000	会費収入（当年度分）	2,850,000	3,160,000
通信費	200,000	176,180	準会費収入（1・2・3・4年生）	1,904,000	1,954,000
印刷費	600,000	620,550	利息収入	3,810,000	3,811,095
慶弔費	150,000	63,000	同窓会名簿売り上げ	5,000	4,000
スポーツ大会費用	100,000	68,334	スポーツ大会会費	100,000	60,000
チャリティー募金	49,500	0	チャリティー募金	30,000	29,000
ファミリーレクリエーション参加費	300,000	185,810	ファミリーレクリエーション参加費	140,000	70,500
大学祭サークル表彰	65,000	0	短期大学合同同窓会負担金	800,000	800,000
大相撲若松部屋後援会会費	0	0	合同同窓会懇親会会費収入	1,700,000	980,000
同窓会会員名簿印刷	800,000	720,300	合同同窓会校友会補助金	0	0
事務用消耗品 手数料等	80,000	30,981	合同同窓会懇親会祝儀	500,000	490,000
卒業生表彰記念品	95,000	40,215	販売品	30,000	88,000
合同同窓会懇親会費用負担金	540,000	1,989,940	近畿大学補助金	0	0
合同同窓会懇親会費用	3,030,000	2,355,500	基金（同窓会館建設）	500,000	500,000
同窓会就職ガイダンス	150,000	150,840	基金（40周年記念行事）	500,000	500,000
予備費	100,000	0	収入合計	12,869,000	12,586,595
関東支部補助金	0	200,000	支出合計	8,509,500	7,910,293
会費振込手数料	0	22,090	翌年度への繰越金	23,451,294	23,968,096
基金（同窓会館建設）	500,000	500,000	合 計	31,960,794	31,878,389
基金（40周年記念行事）	500,000	500,000			

平成14年度近畿大学九州工学部同窓会予算（案）

支出の部			収入の部		
摘要	13年度予算	13年度決算	摘要	13年度予算	14年度予算
会議費	200,000	134,553	会費過年度未収入分	0	140,000
交通費	250,000	152,000	会費収入（当年度455名65%）	2,850,000	3,160,000
通信費	200,000	172,180	準会費収入（在学生）1920名	1,904,000	1,954,000
印刷費	600,000	620,550	利息収入	3,810,000	3,811,095
交友 支部 同窓会等参加費	150,000	63,000	同窓会名簿売り上げ	5,000	4,000
スポーツ大会費用	100,000	68,334	スポーツ大会会費	100,000	60,000
チャリティー募金	49,500	0	チャリティー募金	30,000	29,000
ファミリーレクリエーション参加費	300,000	185,810	ファミリーレクリエーション参加費	140,000	70,500
大学祭サークル表彰	65,000	0	合同同窓会懇親会会費収入	1,700,000	980,000
同窓会会員名簿印刷	800,000	720,300	短期大学合同同窓会負担金	800,000	800,000
事務用消耗品 手数料等	80,000	30,981	同窓会懇親会祝儀	500,000	490,000
卒業生表彰記念品	95,000	40,215	販売品	30,000	88,000
同窓会懇親会費用負担金	1,540,000	1,989,940			
同窓会懇親会費用	3,030,000	2,355,500			
同窓会就職ガイダンス	150,000	150,840			
予備費	100,000	0			
関東支部補助金	0	200,000			
会費振込手数料	0	22,090			
基金（同窓会館建設）	500,000	500,000			
基金（40周年記念行事）	500,000	500,000			
支出合計	8,709,500	7,906,293	収入合計	12,869,000	12,586,595
翌年度への繰越金	23,451,294	23,968,096	前年度からの繰越金	19,291,794	19,291,794
合 計	32,160,794	31,874,389	合 計	32,160,794	31,878,389

平成13年度 同窓会経過報告

H13. 4. 1	同窓会会誌の発行
4. 2	同窓会広報委員会
4. 9	平成13年度入学式出席
4. 15	同窓会実行委員会
5. 14~15	同窓会案内状発送準備
5. 15	合同同窓会実行委員会
5. 18	分子工学研究所所長へ出席
6. 2	当番回期同窓会会場にて打合せ
6. 12	合同同窓会実行委員会
6. 14	合同同窓会実行委員会打合せ
6. 22	合同同窓会準備
6. 23	青木 茂氏同窓会特別講演
6. 24	合同同窓会総会・懇親会
7. 10	校友会北九州支部総会へ出席
7. 27	合同同窓会実行委員会
8. 25	合同同窓会の反省会
8. 29	広島工学部同窓会へ出席
9. 19	同窓会親睦ゴルフコンペ案内状発送
9. 20	幹事会
9. 22	同窓会親睦チャリティーゴルフコンペ
9. 25	在学生サングセミナー（就職ガイダンス）へ協賛
10. 10	校友会支部長会議出席
10. 18	幹事会
10. 27	校友会総会へ出席
10. 28	大学祭参加
11. 3	次期同窓会実行委員会
11. 11	同窓会ファミリーレクリエーション（玄海原子力発電所）
11. 22	幹事会
H14. 1. 10	就職未定者ガイダンス
1. 26	同窓会新年会
2. 5	3年生対象就職ガイダンス
2. 15	幹事会
3. 7	同窓会実行委員会
3. 14	同窓会名簿発行
3. 14	平成13年度卒業式出席（成績優秀者表彰）
3. 16	福岡教職最終講義へ参加
3. 28	同窓会実行委員会

平成14年度 同窓会事業計画（案）

H14. 4. 5	平成14年度入学式出席
4. 10	同窓会実行委員会
4. 23	福岡大協会へチャリティー募金を行う
4. 23	同窓会実行委員会
5. 1	同窓会案内状の発行
5. 8~9	同窓会案内状準備発送
5. 10	同窓会実行委員会
5. 15	同窓会案内状発送
5. 22	同窓会実行委員会
5. 25	同窓会関東支部総会
6. 5	同窓会実行委員会
6. 6	同窓会会場にて打合せ
6. 8	九州短期大学通信教育部同窓会へ出席
6. 12	同窓会準備
6. 21	同窓会総会 懇親会
6. 22	校友会北九州支部総会へ出席
7. 7	九州短期大学同窓会へ出席
7. 7	講演会 在学生（3年生対象）へ就職ガイダンス
7. 7	同窓会実行委員会
8. 8	同窓会の反省会
8. 8	在学生保護者へ同窓会報告書
8. 9	広島工学部同窓会との合同研修会
9. 9	幹事会
9. 9	同窓会親睦チャリティーゴルフコンペ
9. 9	校友会全国支部長 同窓会長会
10. 10	同窓会入会案内発送
10. 10	幹事会
10. 10	講演会 在学生（3年生対象）へ就職ガイダンス
11. 11	校友会総会へ出席
11. 11	大学祭参加
11. 11	学生サークル表彰
11. 11	校友会長福岡支部総会へ出席
11. 11	幹事会
11. 11	同窓会ファミリーレクリエーション
11. 11	幹事会
H15. 1. 1	新年会 平成15年度同窓会実行委員会発足
2. 2	幹事会
3. 3	平成14年度卒業式出席 同窓会名簿発行
3. 3	幹事会

退 職

14年度

教 授 井波 益雄 建築学科
教 授 木原 範恭 基礎科学センター
教 授 吉永 光明 基礎科学センター

近畿大学九州工学部同窓会ニュース

学園祭に学ぶ ウインドカープロジェクト

一夢と挑戦と創造一

平成14年度、各大学で学園祭が行われた。その中で、ユニークな若者の夢への挑戦を見ることができたので報告する。

それは、九州工学部産業デザイン学科のウインドカープロジェクトによる、風力を推進力とする無公害の製作である。

写真に示す作品を見る内に、かつて若いエンジニアであった小生が縁あって、おしえをうけた本田宗一郎オヤジさんを想い出した。

自転車にエンジンを取付ける、試作車の燃料タンクは湯タンポである。

今、ベトナムでは「ホンダ」と言えばオート

バイをさすといわれるまでになった。

動力に扇風機、風胴にポリバケツ、シートにチャイルドシート、そしてバッテリー駆動の三輪ウインドカーである。

これは初期の、誰も相手にしなかった本田のオヤジさんの自転車と湯タンポの燃料タンクの組み合わせと変わらないアイデアによる制作費のコストダウンの試みである。

産業デザイン学科の2年生、西沢暁、羽立廣一の挑戦である。

九州工学部客員教授
青木 伸雄記（S55年建築卒）

近畿大学九州工学部産業デザイン学科有志2002年9月～11月



紹介 就職活動に対する 母校の新たな取り組み



現在、大学生が高い関心をよせる講義傾向のひとつに「就職活動に関する実践的方法論」があります。これは、就職活動の過程において必要とされる自己分析の進め方や、職種・業界の研究、知識の習得等が挙げられます。

過去、本格的な活動時期をむかえる4年次まで、大学生の就職に対する意識は低いものでした。就職活動の現実にくれる機会がないためです。しかし、近年の国際社会やわが国の社会構造の著しい変化による新規採用の減少、就職難の現状に際し、大学生の進路観の醸成への意欲は益々高まりつつあります。

そこで、今回同窓生の皆様にご紹介する講義は、一昨年より開講された、時間的余裕のある1・2年生対象の「就職」をテーマとする授業で、「ライフデザイン」（1年後期）及び「キャリアデザイン」（2年前期）です。それぞれ2単位となり、卒業必要単位としてみつめられます。

これらは、就職難に対する実情を学び、個人の資質を最大限に生かすべく自己分析を行い、人生計画をたて実現するための企業論、職業論、人生論と併せて就職関連の知識を習得し、そして、目標・計画実現に向けての企業研究、模擬試験・模擬面接とともに、現役企業経営者の経営や就職に対するものの見方や考え方の講義を行うものです。担当される青木伸雄教授の熱意あふれる講義は、時には「ロマン」という言葉で表現されるように、将来に向けて人生を考える「きつかけ」のような魅力に溢れており、驚異的な受講率（95%！）と先輩から後輩に口コミで履修を勧めるケースの増加がそれを裏付けていると考えられます。

混迷する社会未来に向けて、現代の学生たちは「知識内容」を吸収しながら「生き方・あり方」を学ぶ機会（教育プログラム）を希有しています。それに応えた教育が、母校では今まさに熱く展開されているわけです。・・・ぜひ、度その空気に触れてみませんか。